

「特に優れた業績による返還免除制度」申込要項

大学院第一種奨学生のうち、申請資格を満たす返還免除希望者は、本要項に従い、所定の期間内に申込手続（申請書類の提出）を行なってください。選考の結果、返還免除者となった場合には、当該課程在学中に受給した第一種奨学金（全額または半額）が免除されます。

1. 申請資格

次の①②③全てを満たす者。

- ①大学院第一種奨学生で、2021年3月に貸与を満期終了（2020年度途中満期を含む）する者または異動による2020年度中の貸与終了者（2020年9月修了者や2021年3月短縮修了予定者を含む）
※満期終了以外の貸与終了者（短縮修了予定者、2021年度日本学術振興会特別研究員の採用者を含む）は、辞退のための「異動願」を2月末日までに必ず奨学課へ提出してください。未手続の場合は申請資格がありません。
- ②在学中の課程において、自分の専攻分野で、別表『特に優れた業績による返還免除制度』対象業績一覧』に該当する業績（修士・博士後期課程は原則として“学内”・“学外”両方の業績が必要）をあげた者。
- ③返還誓約書を提出した者
※2020年度採用者で、奨学金採用直後に提出することとなっている、「返還誓約書」が未提出の者は、1月末日（2020年12月採用者は2月6日）までに奨学課へ必ず提出してください。提出が未了の場合、申請書類を提出しても返還免除の選考対象から外れます。

【注意】返還免除の審査結果に関わらず、2021年4月以降も引続き大学に在学し奨学金の返還猶予を希望する場合は、2021年4月中にカサネット・ポータルを通じて「在学猶予願」を提出してください。

【注意】本制度認定者と確定する前に当該課程における第一種奨学金の一括返還を行った場合、免除の対象とはなりませんのでご注意ください。

2. 申請書類の提出締切日・提出方法

別紙の提出手順も確認の上、【①郵送】または【②持参提出】のいずれかの方法でご提出ください。

※【①郵送】と【②持参提出】で（持参提出の場合は提出先によっても）、締切日・提出可能日・時間帯が異なります。下表をよくご確認いただき、間違えることのないようご注意ください。いずれの場合も、時間外・期間外の提出、ならびに追加提出は一切認めません。

<提出可能日・時間一覧>

提出方法・場所	1/18(月)まで	1/19(火)	1/20(水)	1/21(木)	1/22(金)
郵送	可	可	可	可【消印有効】	不可
持参 (53-101)	不可	11-13時 14-15時	11-13時 14-15時	11-13時 14-15時	11-13時 14-15時
持参 (TWIns)	不可	11-16時 10-17時	11-16時 10-17時	11-16時 10-17時	11-15時 10-15時

※郵送の場合、締切日消印有効です。

※TWInsへの持参提出の場合は、最終日は事務所開室時間ではなく、15時までとなります。ご注意ください。

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、事務所開室時間や持参提出の可否に変更が生じる可能性があります。

※(1/13追記) 緊急事態宣言発出に伴い、TWInsの事務所開室時間が変更になりました。上記の表でご確認ください。なお、郵送ならびに53号館での提出期間・時間に変更はありません。

【①郵送】

提出締切日 : 2021年1月21日(木) 【締切日消印有効】
提出方法 : 郵送(レターパックまたは簡易書留速達郵便に限る)

<郵送にあたっての注意点>

- ・上記の通り、**配達記録が残るレターパックまたは簡易書留速達郵便のいずれか**で発送してください。多くの方から申請をいただくため、個別の到着確認のご連絡には応じかねますので、ご自身で配達記録をご確認いただくようご協力をお願いいたします。
 - ※レターパックライト(青)は厚さ制限がありますのでご注意ください。
 - ※簡易書留の場合かつ1月20日以前に発送する場合は、速達便でなくても構いません。
 - ※万が一レターパックや封筒が1つに収まらず、複数に分かれる場合は、記入可能な部分の余白に「1/2」、「2/2」など複数に分かれることがわかるような記載をしてください。
- ・発送にあたっては、別紙の郵送用ラベルを使用してください。手書きで書き写す場合は、記入ミスのないようご注意ください。
- ・**郵送用ラベルと同一ファイル内の提出用ラベルもご記入の上、必ず同封してください。**

【②持参提出】

提出可能日 : 2021年1月19・20・21・22日(火~金)
各日とも各キャンパスの事務所開室時間内【厳守】
※ただし、開室時間にかかわらず、最終日はいずれも15時までです。
前のページの<提出可能日・時間一覧>もご確認ください。
※上記日程以前の提出を希望する場合は、「①郵送」でお送りください。

提出場所 : 53号館101教室または50号館TWIns事務所
持参物 : 提出書類一式ならびに筆記用具

<持参提出にあたっての注意点>

- ・**学術院所定の封筒に入れてご提出いただきます。**封筒は本要項掲出以降、51号館1階教学支援課カウンターで配布しておりますので、事前のお受け取り・提出準備へのご協力をお願いいたします。
 - ※封筒は当日提出場所にもご用意いたしますので、難しい場合は当日お受け取りください。
 - ※TWInsでは封筒の事前配付は行いません。提出可能日にお受け取りください。
- ・封筒を当日受け取る場合は、提出時にラベルに記入していただく事項がありますので、**筆記用具をご持参ください。**
- ・感染症対策のため、以下の点にご協力をお願いいたします。
 - ①滞在時間短縮の観点から、事前に書類等を封入の上、お越しく下さい(53-101の場合)。
 - ②飛沫感染防止の観点から、その場でのご質問には応じかねます。

3. 必要な申請書類

次の(1)~(6)の書類を揃えて提出してください。所定の様式を変更すると、選考対象外となる、または審査の過程で提出書類に加筆したうえでの再提出を求められる可能性がありますので、ご注意ください。

※様式変更の例外についての詳細は、ホームページ掲載のチェックシートをご確認ください。

また、一度提出した申請書類は、どのような事情があっても一切返却できませんので、提出した全書類のコピーを必ず各自で取っておいてください。

(1)「業績優秀者返還免除申請書」(所定の様式1-1)

後述「6. 申請書類作成にあたっての注意事項」の(1)をよく読み、所定様式の必要事項を全て記入してください。

(2) 「業績一覧表」(所定の様式 1-2 表&裏)

別紙の記入方法もご確認ください。資料番号は「業績を証明する書類 表紙」と必ず合わせてください。

(3) 業績を証明する書類

別紙の記入方法、ならびに後述「6. 申請書類作成にあたっての注意事項」の(3)をよく読み、申請する業績(業績一覧表に記載の業績)全てについて、証明書類を提出してください。また**証明書類毎に「業績を証明する書類 表紙」を付け、ご自身で資料番号を付番の上、ホッチキスでとめてください。**書類が多く、ホッチキスではとまらないときのみ、ダブルクリップ(バインダークリップ)を使ってとめてください。ゼムクリップは外れやすいので、使用しないでください。業績の評価・選考は、提出された証明書類に基づき行います(申請書の記載のみでは評価の対象とはなりません)。

(4) 業績リスト【全員必須】

所定様式の必要事項を全て記入してください。

(5) 業績リスト【学位論文その他の研究論文(学外)業績者のみ】

「学位論文その他の研究論文(学外)」業績者のみ、提出してください。

所定様式の必要事項を全て記入してください。

(6) 研究又は教育にかかる補助業績の推薦書

「研究又は教育に係る補助業務の実績(学内・学外)」の業績者のみ、提出してください。

所定様式の必要事項を全て記入し、「業績を証明する書類 表紙」を付けて、ホッチキスでとめてください。「期間(年月日)」は、授業実施期間ではなく、現在の課程で補助業務を行った期間を記入してください。また、推薦書以外の書類(実習報告書等)は提出不要です。

やむを得ず「推薦書」原本の提出が難しい場合は、推薦人による自署・捺印(シャチハタ不可)済みのスキャンデータ等を印刷したものの提出でも可とします。この場合は、以下の点に留意してください。

※可能な限りカラー印刷してください。

※内容が判別できない場合は業績として認められない場合があります。

※必要に応じて推薦人に記載内容の確認を行う場合があります。

※原本のご提出でもスキャンのご提出でも、そのこと自体が評価に影響することはありません。

(a) 進路報告(MyWasedaからの進路報告)

後述「6. 申請書類作成にあたっての注意事項」の(a)を確認し、返還免除希望者は必ずMyWasedaから進路報告を行ってください。なお、進路状況が返還免除の審査に影響することはありません。

4. 推薦者発表

2021年3月下旬に所属研究科を通じて学内の審査結果をお知らせしますので、必ず確認してください(この段階では**“全額”“半額”の免除額は発表されません**)。

ただし、審査により本学の返還免除推薦者となっても日本学生支援機構の認定により返還免除が認められない場合があります。最終的な返還免除結果は後述「5. 返還免除認定者の発表」で確認してください。

5. 返還免除認定者の発表

返還免除認定者には、7月頃までに日本学生支援機構から直接、返還免除額(第一種奨学金貸与総額の全額または半額)等について通知があります。

所属研究科で申請学生の業績(学内および学外)について総合的に評価を行い、大学の選考・推薦を経て、日本学生支援機構が最終的に返還免除者を決定します。

6. 申請書類作成にあたっての注意事項

(1) 業績優秀者返還免除申請書（所定の様式 1-1）

所定の様式 1-1 に必要事項を全て記入してください。

《注意》『大学院における研究課題等』について、文字数に制限はありませんが、枠のスペース以上に記入し、2頁以降の印刷が発生する（別紙対応を含む）など「書式が崩れている場合」は修正・再提出となりますのでご注意ください。

【様式 1-1】

- ・“課程”から“現住所”まで、全ての項目を記入してください。誤記入がある場合、選考に支障が生じる場合があります。特に、課程、研究科名・専攻名、学籍番号、奨学生番号、現住所の記入に際しては十分注意してください。
- ・氏名欄にはフリガナをつけ、楷書で丁寧に自署（ワープロ入力不可）してください。
- ・奨学生番号とは、奨学生証や返還誓約書（本人控）に印字された 11桁の番号（6～）です。
※奨学生番号は、返還確認票や MyWaseda の個人別奨学金照会画面でも確認できます。
- ・現住所欄には、現在大学に届け出ている住所を記入してください。卒業後に現住所が変更となる場合は、「返還のてびき」を参照のうえスカラネット・パーソナル等を通じ機構に届け出てください。日本学生支援機構からの連絡先（結果通知の送付等）となります。
- ・**■大学院における研究課題等**の欄には、学位論文や研究課題の「題目」「概要」をそれぞれの所定欄内に具体的に記入してください。「題目」の記入漏れがよく見受けられますので、ご注意ください。
- ・**【返還誓約書の提出について】**部分には、提出済み or 提出予定のいずれかの“□”を“■”に変更し、提出予定の場合は提出予定年月日を記入してください。なお、2010 年度以降に採用された者の返還誓約書は原則採用時に提出済みとなっています。2020 年度に採用された者のうち未提出の場合のみ提出予定および提出予定日欄への記載が必要となります。
- ・**【口座振替加入申込の手続きについて】**部分は申請時点の状況の該当する“□”を“■”に変更してください。未加入の場合は速やかに加入手続きを行うようにしてください。

(2) 「業績一覧表」（所定の様式 1-2 表&裏）【両面】

表内の資料番号欄には、提出の際に合わせて提出いただく「**業績を証明する書類 表紙**」に各自で付番した資料番号と合致する番号を記載するようにしてください。

(3) 業績を証明する書類

- ・(2) の業績一覧表に記載した業績項目・内容全てについて、あなたがその業績をあげたことと業績内容・時期が確認できる証明書類を提出してください。業績を証明する書類毎に「業績を証明する書類 表紙」をつけ、ご自身で資料番号を付番し、学籍番号・氏名・申請する業績項目番号を記載してください。また、証明書類に記載されている自身の氏名、作成年月（または発表年月、投稿年月、受賞年月等の日付）はマーカー等を使用して容易に確認できるようにしてください。

《注意》業績一覧表に記入しても証明書類が未提出の場合、その業績は審査の対象外になります。

※顔写真が掲載されただけ（氏名等の掲載なし）の新聞・雑誌記事は認められません。

※対象業績に該当していれば、審査中の論文・印刷中の著書等も申請することができます。

この場合、投稿中または印刷中である旨を必ず明記し、それを証明する資料（受領証や投稿受付のメール等）を添付してください。

《注意》申請書類に不正や虚偽が発覚した場合には、返還免除申請が無効となります。

(a) 進路報告

本制度による返還免除者については、日本学生支援機構による進路状況調査があり、個人が特定されない統計データとして本学から回答します。そのため、返還免除希望者は必ず MyWaseda から進路報告を行ってください。進路報告の方法が不明な場合は、キャリアセンターに確認してください。なお、進路状況が返還免除の審査に影響することはありません。

(参考) 主な業績を証明する書類

業 績	主な業績を証明する書類<参考例>
論 文	論文（修士・博士論文の場合、研究科提出用の概要書コピーでも可）、 抜刷、掲載誌（表紙、目次、該当ページ部分をそれぞれコピー） など ※概要書は、“研究科受付印”・“題目”・“氏名”・“概要”が確認できるものに限り ます。 ※印刷中のものは、校正紙（ゲラ）でも差し支えありません。 査読付論文で印刷中のものは、査読結果通知等（団体発行）を併せて提出して ください。 ※投稿・審査中のものは、投稿論文の受領書・メール等（団体発行）を併せて提出 してください。
学会発表	学会のプログラム（表紙、目次、該当ページの全コピー） など
著書等	著書（表紙、目次、該当ページ部分をそれぞれコピー） 掲載新聞・雑誌（表紙、目次、該当ページの全コピー） など
表彰・受賞	賞状のコピー、合格証のコピー など
発 明	特許願（特許の内容・申請年月日、学生の氏名が確認できる部分の全コピー） など
成 績	学業成績証明書（コピー不可）
研究又は教育の 補助業務	所定様式「研究又は教育にかかる補助業務の推薦書」（教員が記入・捺印したもの） ※補助業務は公的なものに限る（個人的な関係に基づくものは不可）。
その他全般	該当の証明書類で【学生本人の氏名】及び【業績の内容】【業績をあげた時期】等が 確実に確認できるものが必須です。

7. 個人情報保護について

申請書類に記載されている個人情報は、奨学金返還免除業務（日本学生支援機構への書類提出を含む）
にのみ利用するものであって、その他の目的に使用することはありません。

また、一度提出した申請書類は、どのような事情があっても一切返却できませんので、提出した全書
類のコピーを必ず各自で取っておいてください。

8. 返還免除の対象業績一覧

別表『「特に優れた業績による返還免除制度」対象業績一覧』にあてはまる業績（学内および学外の
両方）が対象業績となります。自分のあげた業績が対象業績に該当するか判断に迷う場合は、対象業績
として申請してください。事務所で判断することはできません。また、提出する書類の確認も事務所
ではできません。

9. お問い合わせ先

お問 い 合 わ せ	申請書類の形式的な作成 に関する事項	学生部奨学課 TEL 03-3203-9701 E-Mail : menjo@list.waseda.jp
	進路報告に関する事項	キャリアセンター(学生会館3階) TEL 03-3203-4332
	その他	理工センター教学支援課 ※以下、欄外の申請フォーム(*)からお問い合わせください。

(*) 理工学術院返還免除問い合わせ専用フォーム

以下の URL または QR コードからお問い合わせください。

URL :

<https://my.waseda.jp/application/detail/application-detail?communityContentLinkId=363248716>

QR コード:

